

第8章 新市誕生

1. 開庁式

伊賀市役所の開庁式は、平成16年11月1日午前8時から本庁舎玄関前で伊賀市長職務執行者(垂井正 前伊賀町長)をはじめ前市町村長、伊賀市議会議員等が参列して執り行った。

市長職務執行者の式辞の後、伊賀市銘板の除幕、伊賀市市民憲章碑の除幕、市長職務執行者と前市町村長によるテープカット、前市町村議会議長によるくす玉割りなどで新市誕生を祝った。

開庁式終了後は、事務引継ぎや辞令交付等の後、選挙管理委員会、教育委員会、固定資産評価審査委員会、部長会を行った。

伊賀市開庁式	
日 時	平成16年11月1日(月) 8時00分から8時20分
場 所	伊賀市本庁舎玄関前
主催者	伊賀市長職務執行者
招待者	前市町村5役25名 伊賀市議会議員79名 憲章碑寄贈団体代表5名 三重県知事 三重県伊賀県民局長 国会議員2名 県議会議員3名 名張市長 名誉市町村民6名 合併協議会委員10名
式次第	一. 開式 一. 市旗掲揚 一. 市長職務執行者式辞 一. 来賓祝辞(知事、国会議員等) 一. 祝電披露 一. 伊賀市銘板除幕(市長職務執行者) 一. 伊賀市市民憲章碑除幕(市長職務執行者、寄贈団体代表5名) 一. テープカット(市長職務執行者、前市町村長5名) 一. くす玉割り(前市町村議会議長6名) 一. 閉式

伊賀市役所開庁式式辞

本日は、早朝から三重県知事、国会議員、県議会議員、市議会議員の皆様をはじめ、多くの関係者の皆様にご臨席を賜り、誠にありがとうございます。

平成16年11月1日は、上野市、伊賀町、島ヶ原村、阿山町、大山田村及び青山町が合併し、「伊賀市」が第一歩を踏み出す、まさに歴史的な日となりました。そして、伊賀市役所本庁舎前において、開庁式が挙行できますことは誠に感慨深く身の引き締まる思いであります。

今日、社会は国・地方とも大きく揺れ動いております。国内情勢は景気回復の予兆が感じられるとはいえ、まだまだ厳しい状況であり、地方自治体を取り巻く状況も国の三位一体改革など、益々厳しい時代を迎えています。このような中、地方分権が進められ、市町村も自己決定、自己責任のもとに、その行財政基盤を強化することが求められています。

1市3町2村の合併については、平成2年に策定された伊賀創生計画で「伊賀は一つ」を基本理念に「伊賀市」の誕生を目標とし、その後、平成10年には「伊賀市を考える議員の会」が設立され、数多くの研究会や講演会、シンポジウムが開催され、伊賀市の実現に向けて進んで参りました。その後、平成13年2月に伊賀地区市町村合併問題協議会を設置、平成15年4月には法定の伊賀地区市町村合併協議会を設置し、3年9ヶ月に及ぶ協議を積み重ね、この日を迎えることが出来ました。

本日、こうしてめでたく伊賀市が誕生いたしましたのも、国、県当局並びに関係各方面の皆様、そして、国・県・市議会議員の皆様をはじめ、合併協議会の委員の皆様、地域住民の皆様のご多大なるご支援、ご協力によるものと衷心より感謝申し上げます。

合併は単なる行政の効率化を目指すものではなく、地方分権の流れを踏まえ、これからの地方自治は『自己決定』『自己責任』を基本に住民の参画のもと、新たなまちづくりを推進しなければなりません。

そのためにも、旧市町村が有するそれぞれの歴史、伝統、文化を尊重し、各地域が持つ資源や魅力を共有し、連携を図りながら、個性と特色あるまちづくりを一体的に進めていくことが重要であります。

また、厳しい財政状況のもとで、少子高齢化への対策、市民福祉の充実、産業・文化の振興・教育の充実を図るなど、その役割・責務は益々増大しております。

「ひとが輝く、地域が輝く、～住みよさが実感できる自立と共生のまち～」が新市のめざしているまちづくりの将来像です。これまでの合併協議の成果をふまえ、新市の将来像が早く実現できるよう、伊賀市に対しまして市民及び関係者の皆様のご多大なるご支援、ご協力をお願い致します。

平成16年11月1日

伊賀市長職務執行者 垂井 正

2. 伊賀市長選挙

伊賀市長選挙は11月14日（日）に告示、11月21日（日）に投開票が行われた。投票時間は午前7時から午後7時までで（ただし、大山田第8投票区（坂下公民館）は午後6時まで。）前上野市長の今岡睦之氏と森永勝二氏（共産・新）の2名が立候補したが、開票の結果、今岡睦之氏が当選を果たした。

当日の有権者数は80,028人、投票率は49.2%であった。

候補者	所属	得票数
今岡 睦之	無所属 新	29,484
森永 勝二	共産党 新	9,360
計		38,844

3. 伊賀市初議会

伊賀市の初議会(臨時議会)は、平成16年11月11日に開催された。

新市の議員78名が三重県上野庁舎の大会議室を改造した仮議場に参集し、市長職務執行者が専決処分した条例や予算等の案件を審議した。上程された議案8件と議員発議の4件はいずれも承認及び可決された。

(上程議案)

- | | |
|-------|--|
| 議案第1号 | 伊賀市役所の位置を定める条例ほか289件の条例の専決処分の承認について |
| 議案第2号 | 平成16年度三重県伊賀市一般会計暫定予算ほか16件の暫定予算の専決処分の承認について |
| 議案第3号 | 町・字の区域の設定及び名称の変更についての専決処分の承認について |
| 議案第4号 | 伊賀市市章の制定についての専決処分の承認について |
| 議案第5号 | 伊賀市市民憲章の制定についての専決処分の承認について |
| 議案第6号 | 伊賀市指定金融機関の指定についての専決処分の承認について |
| 議案第7号 | 伊賀市と三重県との間における議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する事務の委託に関する規約の制定についての専決処分の承認について |
| 議案第8号 | 上野市土地開発公社定款の一部変更についての専決処分の承認について |

(議員発議案)

- | | |
|-------|--|
| 発議第1号 | 伊賀市議会会議規則の制定について |
| 発議第2号 | 伊賀市議会委員会条例の制定について |
| 発議第3号 | 伊賀市議会事務局設置条例の制定について |
| 発議第4号 | 地方自治法第180条第1項の規定により市長において専決処分することができる事項の制定について |

伊賀市議会 議員名簿

(平成16年11月1日現在)

議席	氏名	常任委員会	議席	氏名	常任委員会
1	宮本 光雄	産業経済	41	本村 幸四郎	産業経済
2	角田 英彦	総務	42	西口 策	建設水道
3	土井 裕子	総務	43	森本 颯	総務
4	安田 文男	総務	44	西出 佳央	総務
5	北出 忠良	産業経済	45	畑中 尚	総務
6	長田 英次	産業経済	46	西島 英雄	産業経済
7	勝矢 節義	教育民生	47	岡崎 賢作	建設水道
8	大西 保定	教育民生	48	土山 米徳	総務
9	小丸 勅司	教育民生	49	岡島 孝生	産業経済
10	藤森 米計	建設水道	50	松村 頼清	建設水道
11	中本 徳子	教育民生	51	恒岡 弘二	総務
12	木津 直樹	建設水道	52	廣島 清志	建設水道
13	森 正敏	教育民生	53	森永 人三	総務
14	富岡 亘	建設水道	54	吉岡 亮二	総務
15	中森 利秋	建設水道	55	河辻 諭	教育民生
16	空森 栄幸	産業経済	56	馬場 登代光	産業経済
17	今井 由輝	総務	57	中森 徹也	教育民生
18	水口 一郎	総務	58	奥 猛	総務
19	山岡 耕道	産業経済	59	杣川 光孝	教育民生
20	前田 孝也	教育民生	60	谷本 涉	総務
21	藤澤 源一	産業経済	61	森岡 昭二	建設水道
22	辻 公偉治	建設水道	62	桃井 隆子	教育民生
23	森仲 定實	建設水道	63	渡久山 カナエ	教育民生
24	奥 邦雄	建設水道	64	森野 廣榮	教育民生
25	森 保紀	教育民生	65	増岡 規成	総務
26	奥野 勇	教育民生	66	仁保 武	総務
27	奥澤 重久	総務	67	宮崎 由隆	総務
28	今井 博昭	建設水道	68	山中 隆行	産業経済
29	松森 政男	産業経済	69	中川 甫	産業経済
30	安本 美栄子	総務	70	中西 慶三郎	産業経済
31	中岡 久徳	建設水道	71	中森 信次	教育民生
32	岩田 佐俊	産業経済	72	奥 清三	建設水道
33	井上 貞夫	教育民生	73	半田 愛	教育民生
34	井上 剛	産業経済	74	葛原 香積	産業経済
35	大坪 昭明	教育民生	75	菅山 清一	産業経済
36	前川 款昭	教育民生	76	萩野 勝重	建設水道
37	森内 佐武郎	産業経済	77	英 成樹	総務
38	竹島 俊徳	建設水道	78	坂井 悟	建設水道
39	平井 弘郎	建設水道			
40	藤森 富夫	教育民生			